

日、神戸市下山手通、六丁目基督青年会館に於て開催された。

招待せる傍聴者は約二百六十名にして、重なるものは、山川均、野坂鉄、大島新一(徳同盟)、堀二郎(全上)、村尾繁男(全上)、平井英人(全上)、滝井司(日本海員連合)、米窪満亮(全上)、浜本正(水手同盟)及山内五郎子等であつた。

委員長青柳善一郎司会者として冒頭に代議員の来会を論じ、革新同盟の成立より大会を開催するに至れる理由を簡潔に述べ、大會は労働運動史上大なる意義を有するものにして、本日決定する態度は、獨り参加組合のみならず、日本全國に亘る組織労働者は一大部分を嚮つて、議長選挙に移り、野田律太当選、議長就任の辞あり、書記並に各種委員の任命があつた。

有證団体より官業労働総同盟の花岡潔、水手青年同盟の浜本正、朝鮮労働同盟代表者、代理鈴木正一等好意的祝辞を述べ、山川兼榮農民組合岡山、聯合会其他の

の祝電が披露せられた。

次に資格審査委員長より審査の結果、代議員総数一二九名中、欠席七名、合計一二二名と有資格者と認むる旨の報告あり、直ちに各種報告に移り、一般経過事務報告が青柳によりて報告せられたり、建議案委員長の議案採擇に際して、委員会の報告あり、満場異議なく、委員会に決定を承認し、議案の審議に入つた。

3 議案審議の概要

- 一、総同盟中央委員会よりの除名処分の方策  
△除名を光榮とし、総同盟より分離して新組織を創  
立する事に満場一致可決
- 二、新組織の名称  
日本労働組合評議會と決定
- 三、綱領審議  
字句修正二三あり可決
- 四、宣言審議  
原案可決
- 五、規約の審議  
修正可決
- 六、産業別組合整理問題  
可決